



414  
A 795



極秘 第一種

本參 權第六八號ノニ

大正 十一年 四月 贈月

明治三十一年六月八日發

伊國公使館附  
陸軍工兵大佐落合豊三郎報告

米西ノ戦争ニ関スル所見  
米西兩國ノ戦争ニ関シ目下ノ形勢ヲ素スルニ  
西國艦隊ハ聞志ナク全ク專守ノ位置ニアルモ  
、如シ西國カ Coverd トカマラノ兩艦隊ヲ各個  
ノ別ニ動作セシムルカ如キハ抑々其ノ聞志ナキヲ  
誌スルニ足ラサレハ此兩艦隊ヲ連合シ敵ノ  
艦隊ニ優ルノ速力ヲ利用シ米國ノ沿岸首  
要ノ港灣ヲ砲撃シテ彼ヲ恐慌セシメテ情況ニ  
由テハ米國ノ艦隊ト雌雄ヲ決スヘキナリ然ルニ

265  
8

108  
1-1



西國艦隊ノ處置此ニ出テス  
サンチヤゴノ湾内ニ塾居シ其出口ハ封鎖セラレ  
テ已ニ殆ント其自由ヲ失ヘリ偶々六月三日ニ於  
ケル米艦 Merrimac 号カサンチヤゴ港口ニ沈没セル  
ヲ以テ西國ハ大勝利ヲ得タル如ク狂喜誇稱ス  
ルカ或ハ故意ニ為セシモノナルヤ未タ俄ニ判定シ  
難シ其乗員ノ數甚タ僅少ナリシ所ヨリ推測ス  
レハ故意ノ沈没ナルカ如ク思考セラレ而シテ其処  
置故意ナリトセハ其目的ハ次ノ二者ナリシナラン  
即チ一ハ西國艦隊ノ出航ヲ妨害スル為メノ壅塞  
ヲ設置スル目的ニシテ他ハ強行通過ノ先導者  
トシテ布設水雷ヲ爆發セシムル為メ犠牲トナセ

シモノナルヘシ其結果ノ如何ニアリシヤハ暫ク措キ此ノ  
前後ノ形勢ヲ照合セハ多分第一ノ目的ヲ以テ為セ  
シモノナラント思考セラレ何トナレハ五月三十日ニ於テ米  
國ノ Soley 艦隊ハ西國ノ Camara 艦隊カサンチヤゴ  
ノ湾内ニ居ルコトヲ偵察シテ知レリ而シテ六月三日  
早朝ニハ Soley Sampson トノ西艦隊合シテサンチヤゴ  
ニ来リ西國ノ艦隊カ湾内ニ在ルヲ尚ホ確定シタ  
ル後此ノ處置ヲ施セリ而シテ昨今ニ至リ米國ノ陸  
兵五千 (Sancho) 西方 (Santa Cabras) 或ハ東方トモ云  
ヒ未タ確實ナラスニ上陸シ三千ノ土兵ト連合シ後續  
兵一万五千ノ来着ヲ待ツ為メ防禦工事ヲ為シ居レ  
レリトノ評判起レリ之レニ由テ觀レハ米國艦隊ハ上陸  
ノ掩護ヲ確實ニスル為メ敵艦ノ出口ヲ壅塞スル

ノ目的ヲ以テ一運送船ヲ港口ニ沈没セシメタリト云フ  
ヲ得ヘシ  
此陸兵ノ上陸ニシテ果シテ真ニ實行セラレシナラバ  
ケエルウエラノ艦隊ハ海陸両面ニ敵ヲ受クルニ至ルヘ  
Castrovilleノ難澁ヲ救ハンモノハ唯一ノカマラノ率キル預備  
艦隊アルノニ此艦隊果シテ之ヲ赴援スルノ勇アリヤ  
否ヤ若シ之レナトセハケエルウエラノ艦隊ハ遂ニ威海  
衛ニ在ケル清國艦隊ノ如キ終ヲ為スナラシカ  
兎ニ角敏捷活潑ノ運動ヲ主トスヘキ艦隊カ威ノ  
如キ湾内ニ棲居シテ自由ヲ失ヒ又可ナリ戦闘カ有  
スル艦隊カ本國ノ沿岸附近ヲ徘徊シテ一モ企図スル所ナ  
キカ如キハ以テ其戰意ナク志氣ノ振ハサルヲ証スルニ足  
レリ故ニ西國ノ為ス所ヲ見レハ單ニ列國ノ仲裁ヲ待ツ為メ

時日ヲ遷延セントスルニアルモノ、如シ又竊カニ之ヲ促シ  
ツ、アルノ模様モ見ユ  
(終)

